

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	卒業研究					授業形態	授業形態	演習			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	実務経験教員	アクティブ ラーニング	○	ICT活 用	
担当教員名	早川 純子										
授業概要	<p>大学教育の総仕上げとして、卒業論文の作成を目的とする。</p> <p>まず、「子ども教育専門ゼミI」「子ども教育専門ゼミII」を通して、自らの関心領域に基づいて設定した研究テーマについて具体的な研究計画を立てる。次に、関連文献、資料の収集、先行研究の整理、各自のテーマについての現状調査(フィールドワーク等)などの作業を通じて論文をまとめていく。教員による個別指導とともに、「子ども教育専門ゼミII」での討議を重ねて、研究内容を吟味し論文を完成させる。</p>										
関連する科目	各学年で開講されるゼミを履修し、並行して「子ども教育ゼミI」を受講すること。										
授業の進め方 と方法	個々で異なるテーマを取り扱うため、基本的にマンツーマンでの指導を行う。										
授業計画 【第1回】	年間研究フロー確認(執筆スケジュール) : 自分の研究において何を追究し、どのような仮説を立てるべきかを考える										
授業計画 【第2回】	研究方法を決める : 調査方法やデータ収集方法を決め、具体的な計画を立てる										
授業計画 【第3回】	先行文献研究① : 過去の研究成果を文献として調査し研究テーマに関連する既存の知見を把握することで、自身の研究がどのような位置付けにあるのかを理解する										
授業計画 【第4回】	先行文献研究② : 研究対象や研究テーマに関する問題点を発見する										
授業計画 【第5回】	先行文献研究③ : 過去の研究成果や理論的背景を正確に把握する										
授業計画 【第6回】	先行文献研究④ : どのような方法で研究を進めるか、どのようなデータを収集するか、どのような分析手法を用いるかなど、研究設計に役立てる										
授業計画 【第7回】	先行文献研究⑤ : 文献研究で得られた情報を元に、自身の研究に関する議論を展開させる										
授業計画 【第8回】	実地調査計画 : どのような手順で調査を進めるか、どのようなデータを収集するか、どのような方法で分析するかなど、調査全体の流れや具体的な内容を明確に計画する										
授業計画 【第9回】	実地調査あるいは研究実践① : 調査目的や調査項目、調査方法、調査対象、調査期間や予算、調査報告書の作成方法など、実地調査に必要な全ての要素を含んだ計画書を作成する										
授業計画 【第10回】	実地調査あるいは研究実践② : 研究対象とする現場で直接観察・体験・収集したデータを基に、問題の把握や課題解決のための情報を収集する。										

授業計画 【第11回】	実地調査あるいは研究実践③ : 調査結果から得られたデータを分析し、問題点や改善策を明確にする
授業計画 【第12回】	実地調査あるいは研究実践④ : 理論的な知識や技術を実践に落とし込み、より深い理解を得る
授業計画 【第13回】	実地調査あるいは研究実践⑤ : 現場のニーズや課題を把握し、それに応じた教育や保育を提供できるよう試みる
授業計画 【第14回】	データを収集する① : 文献調査やインタビュー、アンケート調査、実験、観察などの方法により研究データを収集することで、研究テーマについてより深く理解し、研究の根拠を確立する
授業計画 【第15回】	データを収集する② : 正確かつ適切なデータを収集することで、研究結果の信頼性や説得力を高める
授業計画 【第16回】	データを分析する : 収集したデータを処理し、意味や価値ある情報を抽出する
授業計画 【第17回】	結果をまとめる : 分析結果をもとに、目的・仮説を検証し、結果をまとめる
授業計画 【第18回】	考察する① : 実験や調査などの結果から得られたデータや事実を分析し、それをもとに原因や意義などを解釈する
授業計画 【第19回】	考察する② : 結果やデータを示し、自己の意見や理解、限界や問題点、改善案などを明確にする
授業計画 【第20回】	考察する③ : 結果を踏まえ、考察を行い、自分なりの解釈を示します。
授業計画 【第21回】	結論を出す① : 研究の目的や仮説を振り返る
授業計画 【第22回】	結論を出す② : 研究結果から導かれる答えを明確に示す
授業計画 【第23回】	結論を出す③ : 論文の中で示された議論や結果が、目的や仮説を支持するかどうかを検討する
授業計画 【第24回】	結論を出す④ : 研究において調査された問題点や改善点についても結論部分で示す
授業計画 【第25回】	結論を出す⑤ : 考察をもとに研究の結論を示し、今後の展望や今後の課題なども含めた総括的な考察を行う
授業計画 【第26回】	執筆内容の確認① : 論文のテーマに関する文献や資料を適切に引用しているか、論文の構成が明確か、研究方法や結果の説明が適切に行われているかなど、論文の内容の正確性や論理的な整合性について確認する。
授業計画 【第27回】	執筆内容の確認② : 論文の書式（フォント、行間、余白など）、参考文献の書き方、引用方法、図表の配置、見出しの付け方など、学術的な論文の標準的な形式、および言語表現や文章構成についても、読みやすく分かりやすい表現になっているか確認する

授業計画 【第28回】	参考文献を付ける : 論文に参照した文献を付け、引用規則に従って書式を整える。
授業計画 【第29回】	論文の書式を整える : 指定された書式に従って、論文の構成・レイアウトを整える
授業計画 【第30回】	最終チェック : 誤字脱字や書式のミスがないか、最終的なチェックを行う
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	卒業研究のテーマについては常に関連する情報を収集し、着実に執筆を進めることが肝要となる。
授業時間外学習【復習】	論文指導での指摘点については速やかに改善し、自己管理に留意し、研究計画に沿って進捗させることが求められる。このようにして、研究の質を高めていく。
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	卒業研究への取り組みと、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	教員の指導のもと、テーマに応じた文献を各自で収集する。
参考書	随時提示する。
備考	